

キミばあちゃんの椿

キミばあちゃんの話聞いて、裕介が考えたことを話し合い、生命について考えよう。

「生きていても仕方がない」と裕介が考えるのはどうしてだろうか

苦しい すぐ具合が悪くなる

楽しくない 病気になるやすい

入退院

迷惑をかける

広瀬淡窓が医師の倉重湊からの「愚痴や恨み言ばかりを並べて見苦しい」「まだ工夫や努力が足りない」と言われた話を聞いて、裕介はどんな気持ちだろうか

恥ずかしい 弱音を吐いていた

くやしい 自分より苦しい人がいる

情けない もっと厳しい

「甘かったんだね。キミばあちゃん、ありがとう」と言ってキミばあちゃんの手を握りしめた裕介はどんなことを考えていただろうか

甘さ 困難に負けないこと

弱かった 真剣に生きる

病気に負けない生き方

自分よりすごい

生命を大切にしている

人のことに心配り

「椿は最後まで生ききる」と言って「生きるとは一筋がよし寒椿」という句を「いいねえ」というキミばあちゃん言葉を聞いて、裕介は生命についてどんなことをかんがえたでしょうか

生命力 寒椿

広瀬淡窓の生き方

命の大切さ 植物も人も同じ

生命を大切に生きて生きることについて考えたことを書きましょう

命を大切にしたい

かけがえのない命

困難に負けない